



# ハカルワカル広場だより

八王子市民放射能測定室

第 18 号

2016. 8. 10発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場  
〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F  
URL: <http://hachisoku.org> E-mail: [hachisoku@gmail.com](mailto:hachisoku@gmail.com) 電話: 042-686-0820  
郵便振替口座: 00180-8-290904 八王子市民放射能測定室

## 2016年5月16日 ちくりん舎訪問記

5月16日に西田、樋谷、佐々木、石井の4名でちくりん舎を訪問してきました。対応して下さったのは、ちくりん舎の浜田和則さん、青木一政さん、中西四七生さん、濱田光一さん、女性スタッフの方でした。

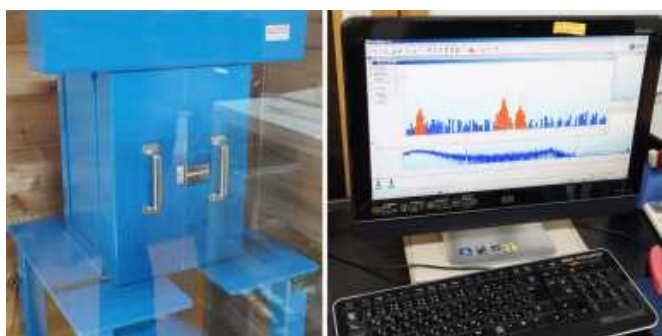
八王子を車で出発し、1時間ほどで日の出町の目的地に到着。ちくりん舎に登ってゆく急な坂の入り口では、「風の塔」と呼ばれるナウシカに出てくるような大きな風車のモニュメントが迎えてくれます。そして、ぐんと急坂を登りきったところに竹林をバックに現れる山小屋風の建物がちくりん舎でした。緑の濃い森を見下ろす絶景に鶯の鳴き声が響き、なんともいえない様子。到着するとすぐに青木さんが出迎えて下さいました。

まずは見学、ということで、測定室に2台あるゲルマニウム半導体測定器を見せていただき、設置したときのご苦労や、温湿度を低く保つための工夫、冷却用の窒素が漏れた場合に警報が鳴るように設置された酸素濃度計のことなど、詳しく説明していただきました。測定室のすぐ外に設置されたパソコンで、2台の測定器から送られてくる測定データが見られるようになっており、スペクトルの鮮明さに一同息を呑みました。

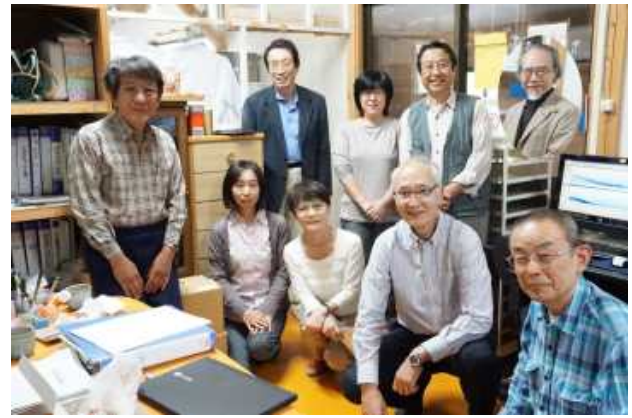
次に検体の準備室。居室とはビニールで仕切られた明るく清潔な作業場は、理科実験室(ラボ)のようでした。様々な経験から積み

重ねられてきた工夫の数々。中でも、汚染濃度の高い検体が部屋に舞うのを防ぐため、掃除機を利用して手作りした排気装置付きドラフトチャンバーには、ハカルワカルメンバーから「これ欲しい!」の声も。高機能の測定器で、尿のような濃度の低いものから土などの高いものまで測るので、微量な汚染も防がなければいけないというところでの試行錯誤があったそうです。また、布団乾燥機をプラスチックのコンテナに繋いだ検体用の乾燥機もを見せていただき、創意工夫に感心するばかりでした。

一通り見学も済み、交流会となりました。まずは、今回測定をお願いする「ふくしまの水」を渡し(※)、なぜ福島市の水道水をわざわざボトリングして売るのが、ということろから、放射能安全神話、シーベルトのまやかし、土壌検査の必要性、リネン布を使って空気中の粉塵の放射性物質を捕まえる試み、尿検査の結果からわかってきたこと、放射能汚染の高い植物についての情報交換などへと話題は広がりました。



中でも興味深かったのは、気流の知識が豊富な中西さんたち（たまあじさいの会）の検証から、汚染物質は川下へ集まっていくだけではなく、森と街との寒暖差により霧が上流に押し戻され、上流にも汚染スポットができることを発見したというお話でした。このような興味深いお話をハカルワカルのお茶会でもぜひしていただきたいとお願いしてきました。

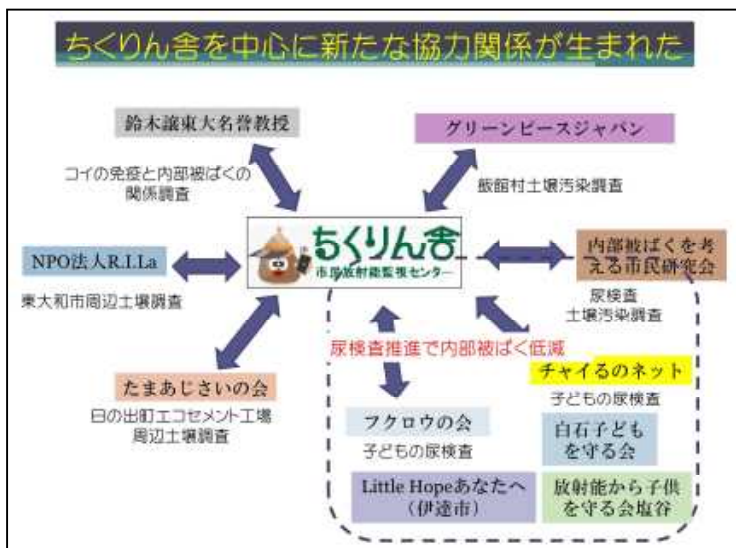


今回の訪問では、福島と宮城に太いパイプの繋がりを持ち、長年の知見と技術力を駆使して被災地を力強く支援するちくりん舎の姿に感銘を受けました（市民の力ってすごい！）。また、みなさんの知識の豊富さとわかり易い説明に感服するとともに、大変あたたかく、快い対応をしていただきましたことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。これを機に、さらに交流を深め連携していきたいと思います。ちくりん舎の皆様、ありがとうございました。

※「ふくしまの水」は福島市の水道水をペットボトルに詰めたもので、福島市で販売されています。後日ちくりん舎より送られてきた放射能測定結果報告書によると Cs134 不検出（検出限界値 0.031Bq/kg） Cs137 不検出（検出限界値 0.033Bq/kg）でした。



### ちくりん舎とさまざまな団体との協力関係



ちくりん舎では、測定を通じてつながってきた様々な団体、個人との関係がさらに発展し、それぞれの団体がお互いの強みを生かして互いに協力しあうという活動が生まれてきているとのこと。たとえば、いくつかのグループが協働して福島県南相馬市の汚染の実態を調査することを通じて、地元の方々が起こした20ミリ基準撤回裁判を支援するという活動の輪が広がっているそうです。

（「原発事故被害者の今を知る」シンポジウム報告集より）





## ボランティアスタッフ紹介

1) 住んでいる町 2) 趣味・特技 3) ハカルワカル広場への願い

- 1) 八王子市明神町在住
- 2) 趣味と実益を兼ねて野菜作りに精を出しています。太極拳や茶道教室にも通っています。
- 3) 「ハカルワカル広場」には今後も子供たちが安全で平和な生活ができるような活動を続けてほしいと思っています。

## 「維持会員の声」

ナント、我が団地に「放射能環境部」を設置したよ！

維持会員

絶対オカシイ！ 3. 1 1で東日本一円に膨大な放射能が放出されたっていうのに、限られた地域以外、国も地方自治体も計測をしない。国民を護ろうともせず、オリンピックなんかには我々の税金を湯水の如く使う。時の首相の愚かな言葉、「放射能は完全にコントロールされています！」嘘つけ！

「ハカルワカル」って絶妙な命名。一般市民のナケナシのお金で立ち上げられたこの市民放射能測定室がなければ、八王子近辺に住む私達はなす術もなく汚染にさらされるがまま。この測定室を立ち上げてくださった二宮さん・西田さんはじめボランティアの方達には心から感謝しているのです。限られた資金内の活動であるとしても、この灯は絶対に消してはダメ！

この国は遠くない将来、崩壊するかもしれない。そんな危機感が私の中にある。微力な私に何が出来る？

遠くを展望する眼差しと、最も身近な事柄の大切さを両立させたい。

そんな中で、今年私が幹事として任された自治会で『放射能環境部』を立ち上げ、6月26日に「八王子市の放射能環境」と銘打って、二宮さんをお招きして2時間ほど講演をしていただきました。

約300世帯の小さな団地です。17名の方達が参加され、熱心に二宮さんの話・映像に聞き入り、アンケートも書いてくれて・・・数名の方が「微量放射能漏れ監視プロジェクト」にも参加したいと申し込まれました。

話は変わりますが、7月10日は参議院選の投票日&開票日でした。結果を知り、かなりメゲマシタ！これからの日本は、一体どうなって行くのか？

しかし、5月にアマダステーションで話された福島佐藤和良さんが言われたように、「最後まで見届ける」と言う静かな覚悟の中で、私もハカルワカルと一緒にこの学びと関わりを、我が団地の人々と共に続けたいと心から願っています。

微力であっても・・・持続は力なり・・・ですよ！

## 測定結果 (2016 年 5 月～2016 年 7 月)

検体	採取	県名	産地・採取地	検体重量(g)	測定容器(cc)	Cs137 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	Cs134 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	備考
庭の土	2016/4/24	岩手県	奥州市	607	1000	840	168	198	40	
掃除機のゴミ	2016 年	東京都	八王子市東浅川町	132	500M	631	126	116	29	
土	2016/6/24	東京都	新宿区	663	1000	343	69	72.2	15.5	土プロジェクト
土	2016/5/14	福島県	南会津郡	857	1000	283	57	81	16	
ゼオライト (元本郷 A-①)	2016/6/10	東京都	八王子市元本郷町	963	1000	271	54	97.5	19.5	
土	2016/6/23	東京都	世田谷区	661	1000	180	36	49.4	11.2	土プロジェクト
土	2016/7/3	東京都	世田谷区	440	1000	146	31	31.1	8.8	土プロジェクト
土	2016/6/24	東京都	千代田区	1152	1000	144	29	42.5	9.2	土プロジェクト
原木シイタケ	2016/4/24	岩手県	奥州市	53	500M	122	42	誤検出		60 分測定
ゼオライト (散田町 C)	2015/10～2016/5/21	東京都	八王子市散田町	1020	1000	92.2	9.2	59.1	12.4	
庭の土	2016/4/2	東京都	町田市	950	1000	91.6	18.8	32.9	7.5	
ゼオライト (散田町 A)	2015/10～2016/6/6	東京都	八王子市散田町	960	1000	79.5	17	52.3	11.3	
コシアブラ	2016/4/下旬	長野県	栄村	149	500M	70.9	18.9	15	以下	60 分測定
ゼオライト (川口町 B)	2016/6/4	東京都	八王子市川口町	965	1000	60.7	13.5	49.1	10.7	
コシアブラ (茹でたもの)	2016/4/下旬	長野県	栄村	133	500M	57.8	17.9	18	10.6	60 分測定
ゼオライト (5 回目)	2016/3/12～2016/5/31	東京都	町田市小山町	827	1000	56.9	13.2	56.4	12.3	
ゼオライト (12 カ月目)	2016/5/23	東京都	八王子市北野台	942	1000	52.7	12.1	46.6	10.3	北野台 A ロット 1、途中中断していたが雨水タンクに浸ける方式の最後の測定
土	2016/6/26	東京都	八王子市緑町	819	1000	49.6	11.2	22	5.7	
ゼオライト (御前崎市西)	2016/6	静岡県	御前崎市	1039	1000	45.5	10.4	35.7	8.1	
ゼオライト (川口町 A)	2016/6/4	東京都	八王子市川口町	992	1000	34.4	3.9	46.1	3.8	
ゼオライト (館町 A)	2016/7/2	東京都	八王子市館町 A	946	1000	31.1	8	38.8	8.8	
砂場の砂	2016/6/9	東京都	日野市	1419	1000	21.4	5.4	19.8	4.7	
ゼオライト (散田町 B)	2015/10～2016/6/3	東京都	八王子市散田町	955	1000	19.4	6.3	誤検出	10.2	
砂場の砂 北	2016/6/15	東京都	八王子市館町	1513	1000	17.4	4.4	10.6	3	
ゼオライト	2016/4 月～5 月	東京都	八王子市	968	1000	17	5.7	35.2	8.1	
庭の土	2016/6/14	東京都	昭島市	1018	1000	11.7	4	11.8	3.6	
砂場の砂 南	2016/6/15	東京都	八王子市館町	1575	1000	10.2	3.3	11.7	3.2	
園芸用の土	不明	栃木県		669	1000	9.5	4	誤検出		Cs134 には鉛 Pb214 の影響あり
土	2016/6/28	東京都	八王子市めじろ台	835	1000	9.5	4.2	誤検出		
ゼオライト (瑞穂町 A)	2016/5/12～2016/6/14	東京都	西多摩郡瑞穂町	752	1000	8.2	5.7	誤検出		
土	2016/4/10	山梨県	北杜市	1114	1000	6.8	3.5	誤検出		
ゼオライト (瑞穂町 A)	2016/4/30	東京都	西多摩郡瑞穂町	712	1000	5.8	5.8	誤検出		
土	2016/6/28	東京都	八王子市めじろ台	844	1000	5.1	3.7	誤検出		
ゼオライト (御前崎市玄関)	2016/6	静岡県	御前崎市	1037	1000	4.6	4.3	誤検出		
ゼオライト (緑町 A)	2016/2/19～2016/6/26	東京都	八王子市緑町	885	1000	3.6	3.5	誤検出		60 分測定



# ハかってワかった話

二宮 志郎

今回は少し早めの発行ということで、測定データが約2ヶ月半分しかありません。それだけでなく測定検体が減っているのに期間まで短くなりましたから、件数はかなり少なく、表を埋めるために微量放射能漏れ監視プロジェクトのゼオライトの分も含めて検出したもの全てを載せています。

いつもこの表を眺めながら、「今回のハかってワかった話の話題は何にしようか」と考えるのですが、いよいよそこからネタが出にくくなってきました。測定結果と全然関係ない話を書く「タイトルに偽りあり」ということになってしまうので、もう少し測定結果をネタにすることにしがみついでいこうと思います。そうすると今回話題にできるのは、岩手産原木椎茸と、長野産コシアブラになります。

## 意外に高い、岩手産原木椎茸

岩手県奥州市産の原木しいたけで Cs137 が 122Bq/kg 出ています。とは言っても、これは検体重量が 53g と非常に少量であるためかなり不正確な数字です。Cs134 の方も検出されていますが、スペクトルではそれらしきものが見られないので誤検出扱いになっています。おそらく Cs134 も Cs137 の 1/5 程度は含まれているでしょう。

岩手県は福島からはかなり離れたところになるので、感覚的には東京あたりと同じだろうとなるのですが、その感覚からすると、いくら原木椎茸とはいえ 120Bq/kg というのはかなり高い数値です。

しかし、汚染マップで奥州市の位置を確認すると少し納得です。奥州市の南に島のようになって汚染の高い地域があり、奥州市も周囲に比べてやや高め地域に区分けされています。そういう地域の原木椎茸はまだ 100Bq/kg を超えてくる状況だということですね。



(早川マップの一部を転載)

## コシアブラは例外的に高い

長野県栄村産のコシアブラも、検体重量が 149g と小さいので、Cs137 が 70Bq/kg という測定値はかなり不正確です。スペクトルでは Cs134 のピークもしっかり見られるので、Cs134 が検出できていませんが存在していることは間違いありません。

長野県栄村は八王子に比べても福島原発事故の影響が低いのではないかと思えるくらいの場所ですが、それでも Cs137 が 70Bq/kg というのですから、やはりコシアブラ恐るべしです。私達も初めてコシアブラを測定した時はびっくり仰天だったのですが、その後いろいろ情報が入ってくる中で、「高くて当然」という感覚が身についてしまって、ちかごろはもう驚かなくなりました。栃木県の道の駅で売られていたコシアブラが 1600~2200Bq/kg の汚染を検出したというニュースも最近ありました。

とにかく、関東・東北あたりのコシアブラを食べる時はそれなりに覚悟の上で、ということですね。

椎茸にしてもコシアブラにしても、一回食べてしまったら「これは大変」というようなレベルの汚染ではありません。目に見えない形で放射能が蔓延する社会がじわじわ人類に影響をあたえているということでしょう。政治の世界は右にしても左にしても、それを是とするのか否とするのか、ちっとも真剣に考えてくれないのが悲しい限りです。



## 「おすすめ映画・動画の紹介」

ハカルワカル広場測定ボランティア 鶴飼 暁

最初、手探りで始めたハカルワカル映画会も、今年の6月で13回目。数多くの方々に、原発や放射能のことを学ぶ機会をもって頂くことが出来ました。一方、日本のテレビや新聞のほとんどが原発についての真実を報道しない中、映画だけではなく、インターネットを通して見ることでできる原発や放射能のことを扱った動画の中にも、キラリと光る優れた作品があります。そうした動画や次回映画会の候補と成り得る映画を紹介する場所をハカルワカル広場のホームページの中に作り、これまでメンバー間で耳寄りな情報を共有してきました。ここでは、これらの情報を元に、幾つかの作品をピックアップして皆さんに紹介したいと思います。

### 1. 『ナミビアウラン採掘ラッシュ』

アフリカにあるナミビアという国のウラン採掘の現状について描いたドキュメンタリーで、ハカルワカル広場の人が発掘した非常に優れた作品です。元々、英語字幕しかなかったものに、ハカルワカル広場の有志が日本語字幕を作成し、作成者の許可を得て、動画に日本語字幕をつけてもらいました。アフリカの一小国の話でありながら、福島を経験した日本にも共通する原子力産業の問題点を鋭く指摘する必見の一作です。

### 2. 『福島のスソ』

ドイツ国営放送 ZDF の制作によるドキュメンタリーで、日本では報道されない福島原発事故の本物の姿が描かれています。原発事故発生直後から、ドイツのテレビ局はこの『福島のスソ』シリーズのドキュメンタリーを制作し、現在は第三弾となっています。国として、真っ先に脱原発を決断したドイツならではの視点で描かれた優れた作品です。

### 3. 『真実はどこに？ ～WHO と IAEA 放射能汚染を巡って～』

この作品は、第13回ハカルワカル映画会で上映した、WHO と IAEA の知られざる関係性について扱ったドキュメンタリー映画です。全編を、YouTube の動画で見ることが出来ます。チェルノブイリ事故の後、人類の健康を守るべき WHO が、実際には原子力産業と結びつく IAEA の影響下にあり、放射能による健康被害を過小評価してきた事実が明かされています。

### 4. 『あれから5年～福島からの避難者はいま』

レイバーネット TV 作成の、福島の人たちの声を直に伝える番組です。広告代理店に支配された既存のメディアとは異なり、広告に頼らない独立系のメディアが、3. 11後、数多く注目されるようになりました。レイバーネット TV もそうしたメディアの一つで、ネット配信を中心に活動しています。この動画では、普段のテレビでは決して聞くことのない福島に住む人たちの生の声を聞くことができます。

### 5. 『草原の実験』予告編

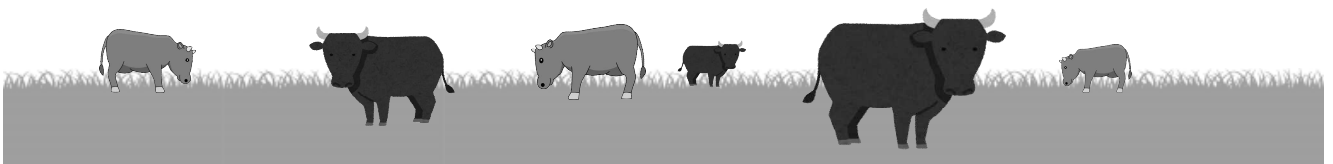
動画サイトの便利な点の一つに、興味のある映画の予告編を動画で直ぐに見ることが出来る点があります。『草原の実験』の予告編を初めて見た時、この映画の持つなんとも言えない魅力に虜になってしまい、作品をレンタルして実際に観てみたところ、その優れた芸術性に圧倒され、どの反核メッセージをも超越した強烈なメッセージ性を感じる事が出来ました。広島・長崎を経験した日本人全てが観るべき映画だと思います。

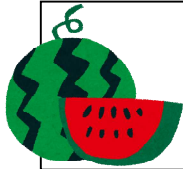
以上の動画へのリンクは、ハカルワカル広場ホームページ「お知らせ」のページにあります。

### あのとき

「自分も食べたかもしれない」という思いから記憶に残る出来事でした。この記事から読み取れるのは、卸売業者、小売店、飲食店そして消費者まで、みんながやるせない思いをし、被害をこうむったということ。まして畜産農家の方の苦しみはいかほどだったことでしょう。その原因となる放射性物質をばらまいたのは誰なのか、決して忘れてはいけません。

(この記事は読売新聞社の許可を得て掲載しています。記事中の店名、個人名を伏せてご利用下さいとのことでしたので、そのように加工してありますことをご了承ください。)





## 測定室からのご報告とお知らせ



### \*6月18日(土) 第13回ハカルワカル映画会で「真実はどこに？」を上映しました。

この映画は、以前ハカルワカルの映画会でも上映しました名作「サクリファイス」の監督ウラディミール・チェルトコフによる作品です。IAEA(国際原子力機関)とWHO(世界保健機関)との論争を扱ったドキュメンタリーです。福島の子供の甲状腺がんは172人に達しましたが、国や県はその原因が福島原発事故の放射能であるとは一切認めていません。その淵源がこのキエフ会議の論争にあります。原発を推進したいIAEAはチェルノブイリ事故後に生じた子供たちの様々な疾患を放射能が原因とは認めず、WHOもIAEAに従属しています。内部被ばくを認めない立場は現在の日本や各国の政府の立場です。

上映後、観客の皆さまから、怒りとも、ため息ともつかぬ声が寄せられました。ウクライナの子供たちの病気でつらそうな様子と、「放射能の影響ではない」を連発する推進側の人たちの映像が交互に現れます。原発を売り込むために不都合な真実は黙殺されていく…

私たちは、真実がどこにあるのかを見極める必要があると、映画は語っているようでした。

### \*6月4日(土) 定例お茶会「隠されてきた小さな原発事故」について学習しました。

福島原発事故のような大事故ではないのですが、これまでにたくさんの事故が隠されています。美浜原発事故、高浜原発事故など。それらを検証しました。

### \*7月2日(土) 定例お茶会「水産物の汚染について」

なぜ淡水魚にセシウムが蓄積されやすいのか、また、海底の土壌測定の実験データなど、ネットを駆使した資料をもとに検証。豊富な資料に参加者から感嘆の声しきりでした。資料はHPの資料室「その他」の項、「7月2日放射能勉強会資料」にあります。ご覧ください。

### これからの予定

#### \*8月23日(火)・・・「夏休み工作教室」

太陽熱温水器模型作り 時間：午前10時～12時。参加費500円

#### \*9月3日(土)・・・「ちくりん舎講演会①」

ちくりん舎の青木一政さん、浜田和則さんをお迎えし、「子どもたちの尿検査」、「リネン吸着プロジェクト」などのテーマでの講演会。ご期待ください！11月5日(土)には連続講座「ちくりん舎講演会②」を予定しています。

#### \*10月1日(土)・・・第14回ハカルワカル映画会

上映作品未定 場所：アミダステーション  
時間：午前10時より



### 編集後記

今年は、関東地方の梅雨明けがなかなか発表されず、なんだか梅雨が長く感じられました。

ごまかしではない本当の「脱原発宣言」も待ち遠しいものです！

## おしらせ

## いわき放射能市民測定室たらちねへ行こう！参加者募集中

11月14日(月)に実施予定です。詳細は同封のチラシをごらん下さい。

たらちねは福島県いわき市にある市民測定室です。甲状腺検診センター、ホールボディカウンターを備え、福島原発事故の被災地にある測定室として、測定を通し地域住民の支援に当たっています。特にベータ線測定を民間で初めて開発し、測定しているユニークな測定室です。募集締め切りは9月10日です。ぜひご参加ください！お電話、またはメールでお申し込みを！